



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 ゼット株式会社

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長

(氏名) 山下龍美

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	28,756	△1.1	△204	—	△140	—	△415	—
23年3月期第3四半期	29,083	0.8	△828	—	△793	—	△1,021	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △411百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △1,057百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△21.22	—
23年3月期第3四半期	△51.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,539	7,362	37.7
23年3月期	19,659	7,774	39.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,362百万円 23年3月期 7,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の配当予想につきましては、未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	3.3	80	—	140	—	65	—	3.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	20,102,000 株	23年3月期	20,102,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	500,186 株	23年3月期	497,086 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	19,603,713 株	23年3月期3Q	19,804,392 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みから徐々に回復が見られたものの、欧州債務問題や歴史的な円高の進行に加え、タイの洪水の影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような状況の中で当社グループは、①IT技術を駆使して効率化を推進するとともに、量から質へ、売上指向から利益指向への転換を進め、高付加価値低コスト経営の会社に変革すること、②自社品を拡充し、メーカーポジションを確立すること、③効率的・機能的流通業態「FIMA（流通統合管理機構）」を確立することを基本方針とし、業績向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28,756百万円（前年同期比1.1%減）、営業損失は204百万円（前年同期は営業損失828百万円）、経常損失は140百万円（前年同期は経常損失793百万円）、四半期純損失は415百万円（前年同期は四半期純損失1,021百万円）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、景気の先行き不透明な状況のもと、個人消費の回復には至らず、デフレ環境下での販売競争はより一段と激化し、厳しい経営環境が続いております。このような状況の中、「外商・スクール」及び「アスレ」マーケットにおいては、健康志向の高まりのなか、ランニングブームによりスポーツシューズの販売は好調に推移し、バスケットボール用品も、「コンバース」ブランドの昇華プリントゲームウェアが引き続き消費者に支持を得て好調に推移したものの、野球・ソフト用品、サッカー用品、テニス・バドミントン用品は低調に推移いたしました。「ライフスタイル」マーケットは、ウィンタースポーツは厳しい状況が続いているものの、前期に比べ市場が回復基調にあり、フットウェアをはじめとし、スポーツアパレル・アウトドア用品も堅調に推移いたしました。「ボディケア」マーケットは、消費者の健康志向は引き続き高いものの、競合商品とのより一層の販売競争激化により、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は26,467百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

(製造部門)

製造部門は、商品企画、開発力、品質管理を強化し、メーカーポジションの確立に努めましたが、野球・ソフト用品は、少子化の影響でマーケットが低迷する中、瞬発力を発揮するポイントスパイク「スタートダッシュ」は、市場で好評価を得られたものの、全体的には卸売部門と同様に苦戦を強いられました。一方、バスケットボール用品は、「コンバース」ブランドの昇華プリントゲームウェアや機能ソックスが市場で引き続き好評価を得たことにより、堅調に推移いたしました。健康関連用品は、野球専用の「加圧」トレーニングウェアは、認知度が高まり堅調に推移したものの、「コンプレッション」アンダーウェアの「4DM」が競合商品との競争激化の中、販売促進強化に努めましたが、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は567百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

(小売部門)

小売部門は、個人消費の低迷に加え、デフレ環境下でのより一層の販売競争激化の影響を受け、アパレル・フットウェアは低調に推移し、アウトドア用品も、高額商品の販売が低調に推移するなど、苦戦を強いられました。

この結果、売上高は687百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

(その他)

物流部門は、小口多頻度出荷や流通加工増加によりコストアップするなか、作業効率の改善に努めるとともに、外部の受託業務を拡大したことにより、好調に推移いたしました。スポーツ施設運営部門は、販売促進活動の強化やユーザー満足度を高めるため、新サービスの強化を積極的に行ったことなどにより、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,034百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ120百万円減少し、19,539百万円となりました。これは主に、商品及び製品が466百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が384百万円、繰延税金資産（流動）が193百万円、有形固定資産が101百万円減少したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ291百万円増加し、12,177百万円となりました。これは主に長期借入金が213百万円、短期借入金が184百万円、賞与引当金が122百万円、その他の流動負債が348百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,166百万円増加したこと等によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ411百万円減少し、7,362百万円となりました。これは主に四半期純損失の計上により利益剰余金が415百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、概ね予想の範囲で推移しているため平成23年8月9日に公表しました連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,565	2,665
受取手形及び売掛金	7,931	7,547
商品及び製品	2,940	3,407
仕掛品	66	82
原材料及び貯蔵品	64	78
繰延税金資産	252	59
その他	171	169
貸倒引当金	△16	△19
流動資産合計	13,975	13,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,230	4,230
減価償却累計額	△2,784	△2,854
建物及び構築物（純額）	1,445	1,375
土地	2,443	2,443
その他	1,244	1,283
減価償却累計額	△969	△1,039
その他（純額）	274	243
有形固定資産合計	4,164	4,062
無形固定資産		
その他	54	56
無形固定資産合計	54	56
投資その他の資産		
投資有価証券	689	677
長期貸付金	53	54
敷金	356	328
繰延税金資産	8	—
その他	462	475
貸倒引当金	△105	△105
投資その他の資産合計	1,465	1,429
固定資産合計	5,684	5,548
資産合計	19,659	19,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,526	8,692
短期借入金	1,207	1,022
未払法人税等	17	16
未払消費税等	17	34
賞与引当金	259	137
その他	859	510
流動負債合計	9,887	10,413
固定負債		
長期借入金	363	149
繰延税金負債	120	100
退職給付引当金	312	317
長期未払金	325	322
その他	876	872
固定負債合計	1,998	1,763
負債合計	11,885	12,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,698	3,282
自己株式	△70	△71
株主資本合計	7,601	7,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	180
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	172	177
少数株主持分	—	—
純資産合計	7,774	7,362
負債純資産合計	19,659	19,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	29,083	28,756
売上原価	22,754	22,889
売上総利益	6,328	5,867
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	620	543
運賃及び荷造費	469	456
賃借料	321	283
役員報酬及び給料手当	2,492	2,324
貸倒引当金繰入額	41	4
賞与引当金繰入額	151	129
減価償却費	138	137
その他	2,921	2,192
販売費及び一般管理費合計	7,157	6,072
営業損失(△)	△828	△204
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	14	14
受取賃貸料	16	15
業務受託料	14	12
その他	39	60
営業外収益合計	86	103
営業外費用		
支払利息	15	10
売上割引	29	27
その他	7	0
営業外費用合計	51	38
経常損失(△)	△793	△140
特別利益		
貸倒引当金戻入額	11	—
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	13	—
特別損失		
投資有価証券評価損	52	—
リース解約損	23	—
品質保証対応損失	—	57
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9	—
特別損失合計	85	57
税金等調整前四半期純損失(△)	△865	△197
法人税、住民税及び事業税	19	16
法人税等調整額	136	201
法人税等合計	156	218
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,021	△415
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△1,021	△415

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,021	△415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	3
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	△35	4
四半期包括利益	△1,057	△411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,057	△411
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。